西暦 2026 年 9 月 15 日

2015 年 1 月から 2026 年 7 月に産業医科大学病院
2023 年 2 月から 2026 年 7 月に林眼科病院本院及び近畿大学病院において
網膜の病気で受診され超広角眼底像撮影（眼底カメラ）を受けた
患者さん及びご家族の方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

１．研究課題名

眼底画像の深層学習による家族性滲出性硝子体網膜症の診断方法の確立

２．研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 6 月 30 日

３．研究機関

産業医科大学

関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門

既存情報の提供のみを行う機関

林眼科病院本院

近畿大学病院

４．研究責任者

産業医科大学医学部眼科学　教授　近藤寛之

５．研究の目的と意義

この研究は産業医科大学医学部眼科学 教授 近藤寛之が研究代表者とする多機関共同研究です。

家族性滲出性硝子体網膜症では症状が多様なため、眼底検査や眼底撮影をおこなっても正確な診断をすることが難しい無症状の患者さんがいます。そのため的確に診断する方法の確立が望まれています。

［目的］

家族性滲出性硝子体網膜症の患者さんとそれ以外の眼科受診者の患者さん（著しい眼底異常を保有しない方）との眼底所見を対比して深層学習を行うことで、眼底写真による家族性滲出性硝子体網膜症の診断を促進することを目的とします。

［意義］

家族性滲出性硝子体網膜症に対する低侵襲で正確な診断方法を確立することができます。

６．研究の方法

家族性滲出性硝子体網膜症の患者さんおよびランダムに抽出されたそれ以外の患者さんの画像は匿名化された状態で関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門に提供され、深層学習による解析を行います。調査項目としては性別、年齢、罹患眼（左右)、病名を利用します。

７．個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て加工（匿名化）します。

また、この研究において使用したデータは、産業医科大学では当該論文の発表後 10 年間、関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門は関西医科大学の規定に従い、当該研究終了後 10 年もしくは、研究結果の最終公表日から 10 年が経過したいずれか遅い日までの期間保管します。

この研究への参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象外とさせていただきます。

８．問い合わせ先

研究担当者 産業医科大学医学部眼科学　講師 松下五佳（電話番号 093-691-7261）
研究責任者 産業医科大学医学部眼科学　教授 近藤寛之（電話番号 093-691-7261）
提供責任者 林眼科病院本院　院長 林研（電話番号 092-431-1680）
提供責任者 近畿大学病院眼科学教室　教授 日下俊二（電話番号 072-288-7222）

９．その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

西暦 2026 年 9 月 15 日

2017 年 8 月から 2026 年 7 月に産業医科大学病院林眼科病院本院、近畿大学病院において

家族性滲出性硝子体網膜症と診断され「眼科疾患における遺伝子解析」の研究に

参加された患者さん及びご家族の方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

１．研究課題名

眼底画像の深層学習による家族性滲出性硝子体網膜症の診断方法の確立

２．研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 6 月 30 日

３．研究機関

産業医科大学

関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門

既存情報の提供のみを行う機関

林眼科病院本院

近畿大学病院

４．研究責任者

産業医科大学医学部眼科学　教授　近藤寛之

５．研究の目的と意義

この研究は産業医科大学医学部眼科学 教授 近藤寛之が研究代表者とする多機関共同研究です。

家族性滲出性硝子体網膜症では症状が多様なため、眼底検査や眼底撮影をおこなっても正確な診断をすることが難しい無症状の患者さんがいます。そのため的確に

診断する方法の確立が望まれています。

［目的］

家族性滲出性硝子体網膜症の患者さんとそれ以外の眼科受診者の患者さん（著しい眼底異常を保有しない方）との眼底所見を対比して深層学習を行うことで、眼底写真による家族性滲出性硝子体網膜症の診断を促進することを目的とします。

［意義］

家族性滲出性硝子体網膜症に対する低侵襲で正確な診断方法を確立することができます。

６．研究の方法

家族性滲出性硝子体網膜症の患者さんおよびランダムに抽出されたそれ以外の患者さんの画像は匿名化された状態で関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門に提供され、深層学習による解析を行います。調査項目としては性別、年齢、罹患眼（左右)、病名とともに「眼科疾患における遺伝子解析」の研究で明らかとなった遺伝子バリアント保有の有無を利用します。

７．個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て加工（匿名化）します。

また、この研究において使用したデータは、産業医科大学では当該論文の発表後 10 年間、関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門は関西医科大学の規定に従い、当該研究終了後 10 年もしくは、研究結果の最終公表日から 10 年が経過したいずれか遅い日までの期間保管します。

この研究への参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象外とさせていただきます。

８．問い合わせ先

研究担当者 産業医科大学医学部眼科学　講師 松下五佳（電話番号 093-691-7261）

研究責任者 産業医科大学医学部眼科学　教授 近藤寛之（電話番号 093-691-7261）

提供責任者 林眼科病院本院　院長 林研（電話番号 092-431-1680）

提供責任者 近畿大学病院眼科学教室　教授 日下俊二（電話番号 072-288-7222）

９．その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。